

平成 27 年度  
第 4 回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

1. 日 時：平成 27 年 11 月 8 日（日） 13:00～14:00
2. 場 所：フェニックス・シーガイア・リゾート 学会事務局室
3. 出席者：外井哲志、坂井猛、橋本信幸、吉武哲信、有馬隆文、天本徳浩、伊東博史、内田智昭、加知範康、木方十根、嶋本寛、辰巳浩、田中尚人、趙世晨、堤昌文、永村景子、箕浦永子、山下三平、吉城秀治 以上 19 名

4. 議 事

1. 前回幹事会議事録の確認
2. まちづくり賞の応募状況について
3. 研究分科会の応募状況について
4. 「支部だより」について(11月発行(12月号掲載分))
5. H28年度事業計画(案)について
6. 会計報告
7. 名義後援受け入れルールについて
8. 名義後援報告(建築談叢さが2015「首都ブラジリア モデルズモ都市の誕生」)
9. 理事会報告 (9月7日分)
10. その他

5. 議事内容

1. 前回議事録の確認 (外井)

- ・事前メール審議にもとづき、平成 27 年 7 月 17 日（金）開催分の第 3 回会議内容を確認した。

2. まちづくり賞の応募状況について (趙)

- ・10 月 14 日より第 2 回九州まちづくり賞の募集を開始、現時点では 1 件のみ応募があったことを報告した。

3. 研究分科会の応募状況について (堤)

- ・9 月 1 日より平成 28 年度研究分科会の募集を開始、現時点では応募がないことを報告した。
- ・今年度で終了予定の都市構造 PDCA 研究分科会について、発展形のタイトル・内容での応募もありえる。
- ・引き続き募集を行い、2 月の幹事会にて来年度採用を確定する。

4. 「支部だより」について(11 月発行(12 月号掲載分)) (永村)

- ・資料に基づいて説明・確認された。
- ・当初予定していた都市計画サロン報告が無い箇所については、11 月 7 日に実施した都市構造 PDCA のワークショップ報告を掲載してもらうよう、橋本幹事から、姫野幹事宛に至急、議事録を送る。

5. H28 年度事業計画(案)について (内田)

- ・資料に基づいて、説明・確認された。
- ・次回幹事会までに各担当の幹事が内容を確認の上、予算増の必要などあれば内田幹事に伝える。

## 6. 会計報告（内田）

- ・資料に基づいて、10月末時点での支部会計報告がなされた。
- ・ワークショップの資料印刷経費7万円程度を支部会計で処理する。支部シンポジウムの扱いなので問題ないだろう。本日(宮崎大会)までの20万円程度残っている。今後のサロンなどで使用していく。

## 7. 名義後援受け入れルールについて（永村）

- ・資料に基づいて名義後援受け入れルール案が説明された。
- ・入会までには時間も要するため、実質的には非会員からの依頼は受けるのが難しい。
- ・非会員の場合は、入会スケジュールに伴う時間切れを防ぐため、入会の意向を確認した上で、対応してはどうか。入会の意向確認は、入会申込書の控えを提出してもらうなどの対応をする。
- ・海外の方など、入会をお願いできない場合もあり得るので、「原則」としておいた方がよい。
- ・当ルールは運用上の非公開のものなので、その都度相談をする必要がある。
- ・営利目的など、「承諾しないもののルール」や支部メーリングリスト配信のルールについてもまとめておくべきである。
- ・次回の幹事会にて名義後援の承諾方針、承諾しない方針、MLのルールについて、事務局案を提示する。

## 8. 名義後援報告(建築談叢さが2015「首都ブザリア モデルズモ都市の誕生」)（永村）

- ・資料に基づいて、建築談叢さが2015「首都ブザリア モデルズモ都市の誕生」のメール審議・承諾の旨が報告された。

## 9. 理事会報告（9月7日分）（外井）

- ・資料に基づいて、本部理事会について説明・報告がなされた。
- ・昨日の支部長連絡会議にて、支部予算の配賦について 会員数の10%を配賦の方針になった。全支部とも予算配賦は増える方向である。

## 10. その他（橋本）

- ・都市構造PDCAのワークショップ報告がなされた。60名程度の参加があり、当初予定していた資料が足りなくなるくらい盛況であった。内容も大変好評であった。

以上